

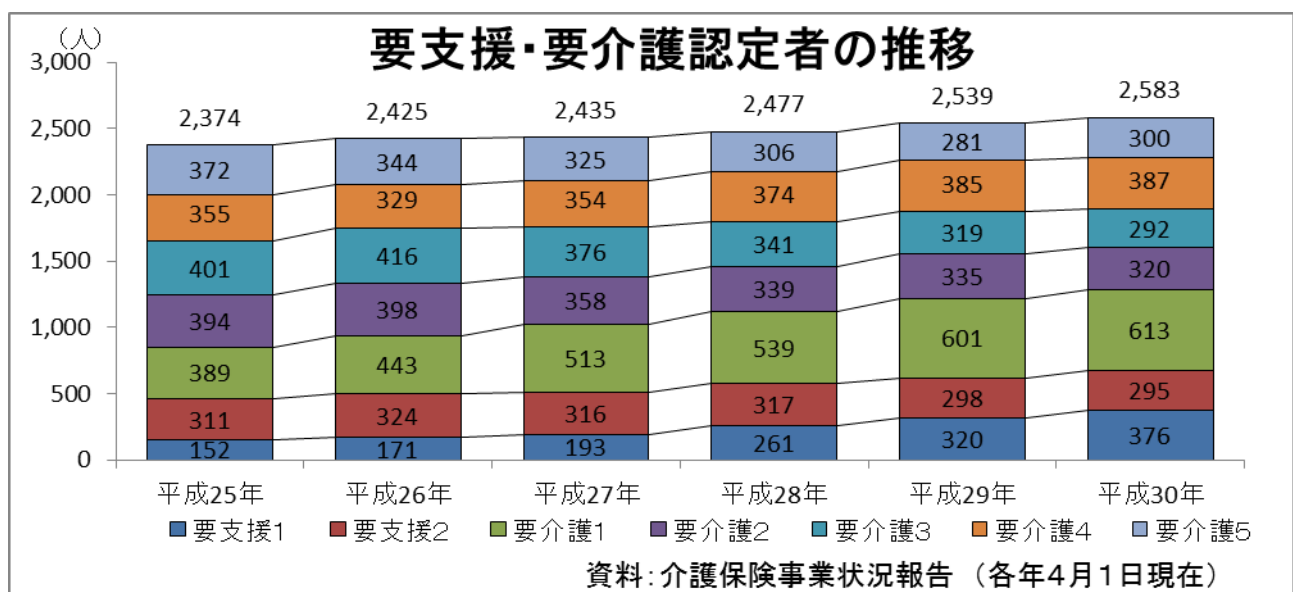
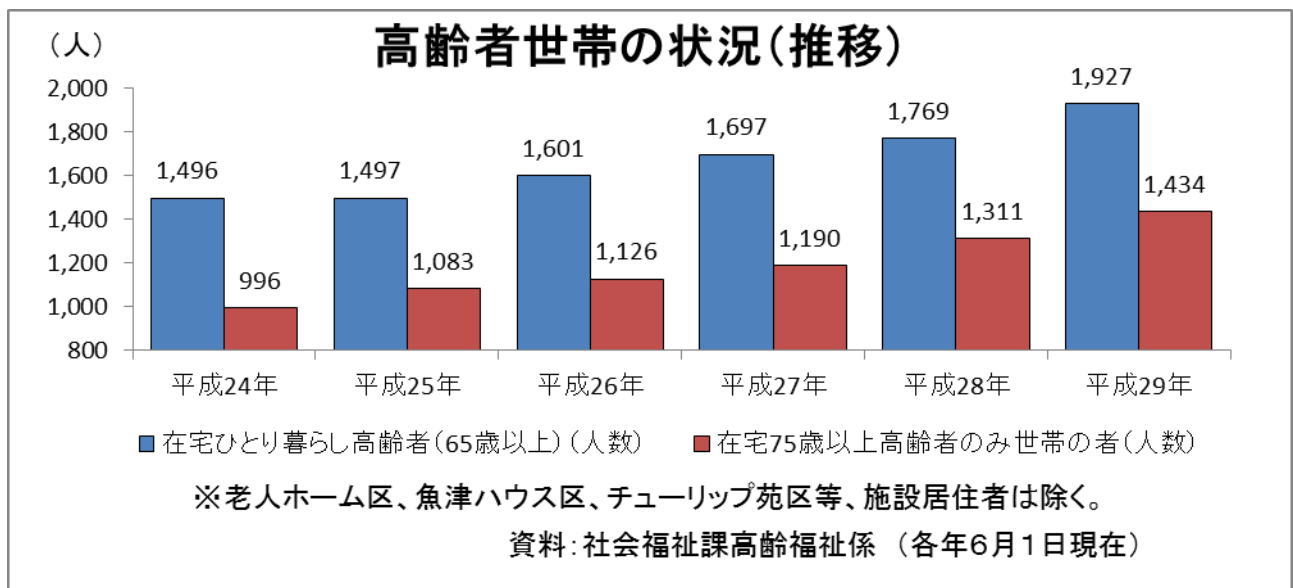
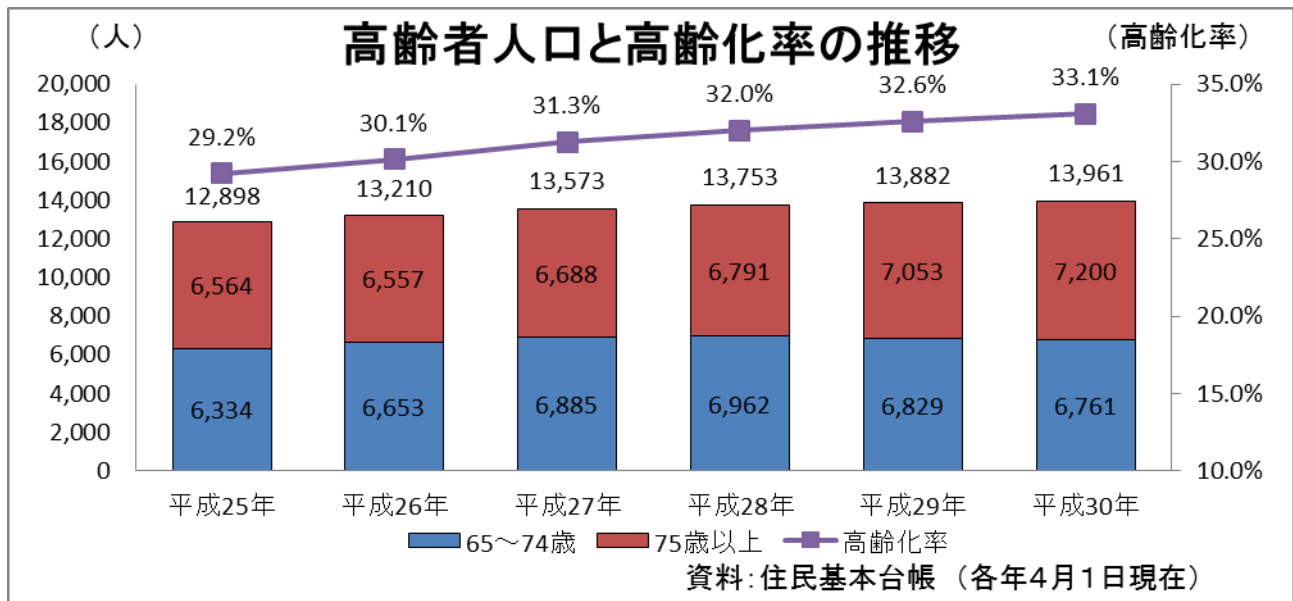
魚津市の社会福祉

【高齢福祉関係抜粋】

2018



富山県魚津市



第 3 章 高齡者福祉

第3章 高齢者福祉

市の高齢化率は平成30年4月1日現在33.1%であり、世帯についても高齢者の一人暮らしや夫婦二人暮らし世帯が年々増加し、高齢者のみの世帯が3,080世帯を超える状況となっている。

こうした中で、高齢者ができる限り要介護状態にならずに健康で生きがいをもって暮らせるよう「魚津市高齢者保健福祉計画」に基づき、『すべての高齢者が、人として尊重され、健康で生きがいを持ちながら、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らせるまち～「自立と共生」を目指した地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて～』を基本理念として事業を実施している。

元気高齢者には老人クラブ活動、高齢者趣味教室、軽スポーツ、ボランティア活動などへの社会参加を支援するとともに、シルバー人材センター事業の拡充など高齢者の就労支援に努める。また、福祉センター、高齢者いきいきセンターの運営、各種敬老事業などを実施する。

また、介護保険の対象者にはならないが、生活機能が低下している虚弱高齢者については、地域包括支援センターによる総合相談や、要介護状態にならないための介護予防事業を実施して、できる限り元気で住み慣れた家で暮らせるよう、在宅高齢者の生活支援充実に努める。

高齢者が地域の中で暮らし続けるためには、地域住民の支援が大変重要なことから、地域と行政が協働して高齢者を社会全体で支えていく体制の整備とその推進を図る。

介護保険事業は介護保険制度が施行されて18年が経過し、平成30年4月から第7期計画期間に入った。高齢化の進展に伴い、要介護認定者数、給付費が増加しており、今後も引き続き介護予防を重点的に推進する必要がある。また、可能な限り自宅で暮らせるよう被保険者の希望を尊重した支援ができるようサービス体制の確保を図る。介護支援専門員（ケアマネジャー）への指導・支援、サービス事業者の指導、介護給付適正化システムの活用などによりサービスの質の向上を図る。

魚津市地区別高齢者数・高齢化率

（平成30年4月1日現在）

地区名	合計	大町	村木	下中島	上中島	松倉	上野方	本江	片貝	加積	道下	経田	天神	西布施
総数(人)	42,224	2,525	2,807	2,968	1,413	1,092	2,317	7,457	1,097	6,195	6,092	4,720	2,340	1,201
高齢者数	13,961	1,196	1,183	896	495	378	734	2,356	422	1,962	1,668	1,549	658	464
65～74歳	6,761	514	531	443	265	155	389	1,056	173	961	869	809	357	239
75歳～	7,200	682	652	453	230	223	345	1,300	249	1,001	799	740	301	225
高齢化率(%)	33.1	47.4	42.1	30.2	35.0	34.6	31.7	31.6	38.5	31.7	27.4	32.8	28.1	38.6
65～74歳	16.0	20.4	18.9	14.9	18.8	14.2	16.8	14.2	15.8	15.5	14.3	17.1	15.3	19.9
75歳～	17.1	27.0	23.2	15.3	16.3	20.4	14.9	17.4	22.7	16.2	13.1	15.7	12.9	18.7

（注）住民基本台帳による

1. 生きがいと社会参加

(1) 老人クラブ活動助成事業

高齢化の進展や要介護者の増加など、高齢者を取り巻く課題が多いなか、老人クラブは高齢者自らの健康維持、生きがいづくり、地域社会参加活動を推進し、よりよい地域づくりに取り組んでいる。具体的な事業内容として、高齢者趣味教室、シルバースポーツ大会、趣味の手作り展、高齢者芸能大会、ふれあい保養旅行、世代間交流、社会奉仕活動などが挙げられる。市では、魚津市老人クラブ連合会への事業委託、単位老人クラブへの活動助成など、継続的な支援に務めている。

○校下別老人クラブ数及び加入者数（各年度当初の状況）

校下別	年度	計	大町	村木	住吉	上中島	松倉	上野方	本江	片貝	加積	道下	経田	天神	西布施
クラブ数	28年度	75	9	8	4	5	4	3	7	4	9	5	7	6	4
	29年度	75	9	8	4	5	4	3	7	4	9	5	7	6	4
会員数	28年度	4,785	476	420	265	268	207	175	491	245	596	372	464	479	327
	29年度	4,763	476	416	256	326	213	169	464	230	597	377	443	472	324

○平成29年度補助金

- ・単位老人クラブ助成（1クラブあたり）
 - 46,560円（45人以上50人未満）
 - 51,360円（50人以上59人未満）
 - 56,160円（60人以上69人未満）
 - 60,960円（70人以上79人未満）
 - 65,760円（80人以上89人未満）
 - 68,160円（90人以上99人未満）
 - 70,560円（100人以上）
- ・連合会助成（魚津市老人クラブ連合会） 1,050,936円

(2) 老人のための明るいまち推進事業

※29年度実績

事業名	実施期間	場所	実施内容
高齢者趣味教室	4月～3月	老人趣味の家・総合体育館・新川学びの森ほか	陶芸・民謡・華道・ダンス等17教室の実施により、相互の親睦と交流を深め、健康と生きがいづくりを図った。
高齢者地域社会参加活動	5月～9月	ミラージュランドほか	ミラージュランドほか清掃活動 延909人
ベタンク大会	8月10日	農村環境改善センター	健康と生きがいづくりを図った。 参加 14チーム 50人
ゲートボール大会	8月20日	早月川緑地公園 ゲートボール場	健康と生きがいづくりを図った。 参加 4チーム 20人
シルバースポーツ大会	9月29日	ありそドーム	健康を増進し、相互の親睦と交流を図った。 参加人員 1,200人

事業名	実施期間	場 所	実 施 内 容
全国大会派遣激励	9月9日 ～12日	秋田県内各市	第30回全国健康福祉祭秋田大会（ねんりんピック）参加者激励 種目：ゴルフ ほか4種目 28人
高齢者趣味の手作り展	10月5日 ～6日	新川文化ホール	陶芸・はがき絵・華道・水墨画ほか、高齢者趣味教室の成果を発表した。 出展者数 93人 入場者数 380人
老人クラブ芸能大会	10月6日	新川文化ホール	民謡・ダンス他高齢者趣味教室の成果を発表した。出演者 延192人 入場者 450人

（３）高齢者就業機会確保事業

- ・事業内容 公益社団法人魚津市シルバー人材センターの健全な育成を図るため、運営に要する経費の一部を補助する。
- ・事業主体 公益社団法人魚津市シルバー人材センター
- ・事業費 226,702,901円 うち市補助金 8,500千円※平成29年度実績

（４）福祉センター（※福祉センターは平成30年3月31日廃止）

高齢者が健康で充実した毎日を送ることができるよう、レクリエーションと高齢者の交流の場として、また、趣味や教養を高めるための施設として福祉センターを設置している。

- ・利用料 一般（60歳以上）300円 団体（15人以上）180円
- ・休館日 月曜日（祝日を除く） 年末年始（12月29日～1月3日）
- ・施設数 2か所

区 分 施 設	年間利用延人数（ ）は月平均			年間利用料（ ）は月平均		
	27年度	28年度	29年度	27年度	28年度	29年度
魚津市福祉センター 百楽荘	12,993人 (1,083人)	11,536人 (961人)	8,364人 (697人)	3,494,100円 (291,175円)	3,023,400円 (251,950円)	2,065,200円 (172,100円)
経田福祉センター	6,057人 (505人)	7,095人 (591人)	7,569人 (630人)	1,406,100円 (117,175円)	1,604,400円 (133,700円)	1,555,200円 (129,600円)
計	19,050人 (1,588人)	18,631人 (1,533人)	15,933人 (1,327人)	4,900,200円 (408,350円)	4,761,500円 (396,792円)	3,620,400円 (301,700円)

（５）高齢者ふれあいの家

地域の高齢者の生きがいと健康づくりの場として、さらに高齢者の交流を目的にした施設

- ・利用料 一般（60歳以上）200円
- ・休館日 火曜日（祝日を除く） 年末年始（12月29日～1月3日）

区 分 施 設	年間利用延人数（ ）は月平均			年間利用料（ ）は月平均		
	27年度	28年度	29年度	27年度	28年度	29年度
片貝高齢者 ふれあいの家	2,850人 (237人)	2,900人 (241人)	2,860人 (238人)	570,000円 (47,500円)	580,000円 (48,300円)	572,000円 (47,600円)

（６）高齢者いきいきセンター

高齢者の生きがいづくりの場を創出し、提供することにより、豊かな長寿社会の実現に寄与することを目的とする。

- ・施設概要 木造平屋建て
- ・建物面積 291.49㎡
- ・事業概要 就業機会確保に関する事業、高齢者のボランティア活動に関する事業

施 設	区 分	年間利用延人数（）は月平均		
		27年度	28年度	29年度
高齢者いきいきセンター		7,535人 (628人)	7,588人 (632人)	7,247人 (603人)

（７）福祉推進員設置事業（見守りネットワーク）

社会的に孤立しがちな一人暮らし高齢者に対し、常に温かく見守る地域ぐるみの支援体制として、福祉推進員による「見守り活動」を実施している。

- ・福祉推進員 13地区 310人（3月末現在）
- ・見守り対象者数 1,100人（3月末現在）

（８）一人暮らし老人等ふれあいサービス事業

一人暮らし高齢者の見守りを兼ねたサービス事業を魚津市民生委員児童委員協議会に委託し、13地区すべてで実施している。

（９）ふれあい入浴事業

70歳以上の高齢者に対し、市内公衆浴場に毎月第2・第4火曜日に200円で入場できるカードを交付している。

- ・平成29年度交付人数 延 839人
- ・平成29年度利用実績 延 14,820人

（10）在日外国人高齢者福祉金の支給

日本国籍を有しないために国民年金に加入することができなかった、市内在住の外国人高齢者に支給する。

- ・支給要件 1年以上市内に在住していること。大正15年4月1日以前生まれであること。他の公的年金を受給していないこと。
- ・支給額 月額 8,000円
- ・支給者数 3月末現在 1人

（11）高齢者祝品贈呈事業

米寿と満100歳の方をお祝いする。（平成29年度実績）

満88歳（米寿）249名（男 71名 女 178名） 祝状（筒）

満100歳 9名（男 1名 女 8名）祝状、祝品（綿毛布など）、花束、額

3. 介護保険外のサービス

介護保険制度の対象とならないサービスで、在宅で生活するために必要な生活支援サービスをきめ細かく実施し、できる限り住み慣れた家で暮らし続けられるような支援を実施している。

また、日常生活が自立している高齢者を対象に、健康で元気に長生きできるよう介護予防事業を実施している。

(1) 家族支援サービス

事業区分	対象者・事業内容	本人負担	29年度実績
徘徊高齢者家族支援事業	認知症高齢者の位置を探知するための機器を貸与し、毎月の利用料を助成する。	無料 (情報料は本人負担)	3月末利用者 9人
家族介護用品の支給	要介護3, 4, 5又は身障手帳1, 2級の家族を介護している場合に、おむつ、尿とりパット、使い捨て手袋、おしりふき等の介護用品を助成する。 補助対象額は月額 8,000 円が限度で、宅配方式と直接購入方式のいずれかを選択できる。	住民税非課税世帯 1割負担 その他の世帯 3割負担	<支給実人数> 3月末 438人 <総支給額> 14,586,239円
障害者等介護手当支給事業	在宅で要介護3, 4, 5の高齢者を介護する家族に月額 4,000 円を支給する。(住民税非課税世帯のみを対象とする。)		<支給延人数> 106人 <総支給額> 1,600,000円
魚津市徘徊高齢者 SOS ネットワーク事業	徘徊して行方不明となるおそれのある高齢者を、市内の事業者などの協力を得て早期に対応することで安心・安全を図る。	無料	<登録者数> 3月末 93名 <協力事業者数> 3月末 81事業所
介護家族の集い	認知症の高齢者等を介護する家族を対象に、介護負担感の軽減を目的とした相談対応。 (会場：つむぎ倶楽部)	無料	毎月 20日開催 延参加者 129人
オレンジカフェ (認知症カフェ)	認知症の本人とその家族、地域住民、専門職の誰もが参加でき集う「カフェ」の開催及び介護相談 (会場：つむぎ倶楽部)	300円(飲食代)	毎月 第1木曜日 延参加者 50人

(2) 生活支援サービス

事業名		対象者・事業内容	実施主体 又は委託先	本人負担	29 年度実績
配食サービス	毎日型	調理が困難な高齢者や身体障害者に月曜日から金曜日までの昼食及び夕食を届ける。	(福)新川老人福祉会	低所得者 1食 300 円 その他 1食 350 円	配食数 3 月末 対象者数 40 人 延 10,213 食
	月 2 回型	月 2 回ひとり暮らし高齢者に昼食を届ける。	(調理) 地区ボランティア (宅配)民生委員	1食 200 円	実施地区：3 地区 経 田 延 665 食 上中島 延 425 食 上野方 延 333 食
日常生活用具貸与事業		(車いす) 短期間のみ車いすが必要な方に貸与 (福祉電話) 電話による安否が必要な生活保護世帯又は低所得者に貸与	市	車いす：無料 福祉電話： 通話料	車いす 52 人 福祉電話 4 人
緊急通報装置設置事業		ひとり暮らし高齢者等のための日常的な健康相談や 24 時間体制の緊急通報システムの設置	民間業者	無料 但し、住民税 非課税世帯	3 月末利用者数 22 人
在宅高齢者等住宅改善支援事業補助金		高齢者宅の段差解消、手すり設置等への助成事業。介護保険の限度額を超えた分に対して助成し、補助限度額は 30 万円(要介護者等は 60 万円)	市	所得税 非課税 世帯が対象	利用者数 4 人 助成額合計 300,000 円
在宅高齢者等住宅改善資金貸付金		高齢者用居宅整備資金を貸し付ける。 (居室整備) 200 万円 (住宅整備) 100 万円	市		29 年度 新規貸付実績なし
寝具クリーニングサービス事業		一人暮らしや高齢者世帯等の寝具を年 2 回丸洗いする。1 回に寝具 3 点までとする。要介護 1 以上又は身障手帳 1, 2 級の方が対象	民間業者	無料 但し、住民税 非課税世帯	実施月・利用者数 7 月 28 人 12 月 20 人
訪問理美容サービス事業		美容院に出向くことが困難な高齢者等に出張調髪サービスを行う。要支援 1 以上又は身障手帳 1, 2 級の方が対象	魚津理容業環境衛生同業組合	調髪の実費は 本人負担	5 件
在宅要介護高齢者福祉金支給事業		在宅の要介護 4 又は 5 の高齢者に対して月額 5,000 円を支給する。	市	所得要件あり	延支給者数 229 人 総支給額 4,980,000 円

事業名	対象者・事業内容	実施主体 又は委託先	本人負担	29 年度実績
要介護高齢者ミドルステイ事業	介護保険対象者及び一人暮らし高齢者のショートステイ事業の延長分 90 日まで（年間 180 日まで）を助成する。	民間事業者	要介護認定区分に応じた本人負担あり	利用延日数 5 日
要援護世帯除雪助成金支給事業	市内に子がいらない、70 歳以上の高齢者世帯に対して除雪費用の助成として上限 10,000 円を交付する。	市	1 回につき 10,000 円を超える分は自己負担（1 年度 2 回まで）	4 件

（３）自立支援を目的とした介護予防サービス

事業名	対象者・事業内容	実施主体 又は委託先	本人負担	29 年度実績
生活管理指導短期宿泊事業 (H28 年度より自立ショートステイ事業と改名)	家族が不在などの場合に一時的な入所により、食事、入浴などの介護や機能訓練を実施	(福)新川老人福祉会	1 日につき施設の定める利用料のほか、食材料費や部屋代	利用者数 1 人 利用日数 5 日間
おたっしゃ介護予防教室	介護状態にならないための運動プログラム、調理プログラム、アクティビティ指導事業	(福)魚津市社会福祉協議会	参加費 無料 材料費 実費 (福祉センター入館料 300 円が必要。)	福祉センター 2 ヶ所 開催日数 247 回 参加延人数 16,402 人
サロン出前型介護予防教室	いきいきサロンを対象に柔道整復師による転倒予防教室等	魚津市接骨師会	無料	開催回数 67 回 参加延人員 767 人
地域住民グループ活動支援事業 (ふれあい・いきいきサロン)	地域での自主的コミュニティ活動、介護予防活動 等	(福)魚津市社会福祉協議会	無料	実施グループ数 89 ヶ所 延参加人数 13,376 人
通所型 介護予防事業	身体機能の向上を目的とした教室	(医)ホスピエディケアステーションかがやき	1 回 300 円	実施回数 108 回 実人数 69 人 延参加数 702 人
	閉じこもり予防を目的とした教室	市	無料	実施回数 12 回 実人数 12 人 延参加数 87 人
	脳の健康づくりを目的とした教室	市	月 1,000 円 (教材費)	実施回数 48 回 実人数 42 人 延参加 518 人
介護予防把握事業	75～80 歳の方を対象に、認知症チェックリストの実施	市	無料	チェックリスト実施者 1,924 人 予防対象者 90 人
	虚弱高齢者該当者に対する訪問事業	市	無料	延人数 221 人

(4) 施設福祉

自立の方で、在宅生活が困難な高齢者のために、施設への入所を紹介している。

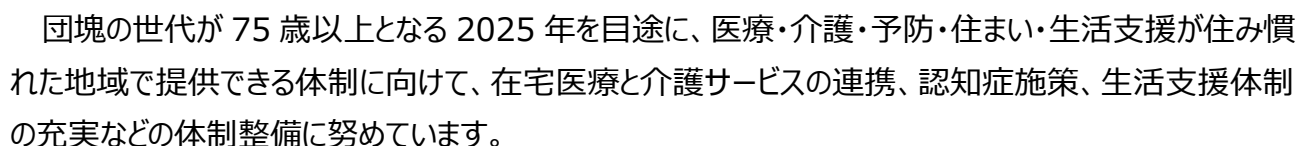
身体上、精神上、または環境上の理由及び経済的理由により居宅で生活することが困難な、原則として 65 歳以上の高齢者が入所する施設。入所するときは、自分の身の周りのことが独力でできる体力が必要となる（寝具の上げ下ろし、居室の清掃、食事、入浴など）。

養護老人ホームは、所得の低い方（市民税均等割以下）が入所できるが、本人に年金・恩給などの収入がある場合には、必要経費を除いた額に応じて費用負担があり、その主たる扶養義務者も、負担能力に応じた費用負担がある。

<29 年度措置状況>

(平成 30 年 3 月末現在)

施 設 名	措置人員	男	女	29 年度措置費合計
ながれすぎ光風苑（富山市）	1 人	1 人	0 人	5,468,677 円



（２）魚津市生活支援コーディネーター活動事業

地域の特性に応じた「地域包括ケアシステム」の構築を実現するため、関係者のネットワークや既存の取組・組織等も活用しながら、資源開発、関係者のネットワーク化、地域の支援ニーズとサービス提供主体のマッチング等を行う「魚津市生活支援コーディネーター」を配置しています。

○魚津市生活支援コーディネーターの主な活動（平成 29 年度）

「地域のニーズ把握及び社会資源の洗い出し・整理」

・ささえあいマップ作り、サロン代表者研修会グループワーク・ヒアリング調査、子育てサロン、地区ケース検討会の開催

「サービスの担い手の育成」

・地域の居場所づくり研修会の開催

「先進地視察」

・ミニデイサービスかようまいけ（南砺市）視察

「ネットワーク構築」

・企業向け研修会「企業による地域貢献セミナー」の開催

（３）魚津市生活支援・介護予防サービス体制整備協議体

高齢者の生活支援サービス及び介護予防サービスの体制整備に向けて、多様なサービス提供主体の参画が求められることから、本市と様々な団体等が定期的な情報の共有や連携の強化について協議する「魚津市生活支援・介護予防サービス体制協議体」を設置しています。

○協議体の構成員

・地区社会福祉協議会

・魚津市民生委員自動委員協議会

・魚津市老人クラブ連合会

・公益社団法人魚津市シルバー人材センター

・社会福祉法人魚津市社会福祉協議会

・魚津市生活支援コーディネーター（社会福祉法人魚津市社会福祉協議会に委託）

・魚津市役所社会福祉課・地域協働課（事務局）

※平成 29 年度は 3 回開催

（４）在宅医療・介護連携推進事業

在宅医療に取り組んでいる新川地域在宅医療支援センターに事業の一部を委託し、地域住民への普及啓発、医療・介護関係者の研修、在宅医療・介護連携に関する課題の検討などを実施しました。

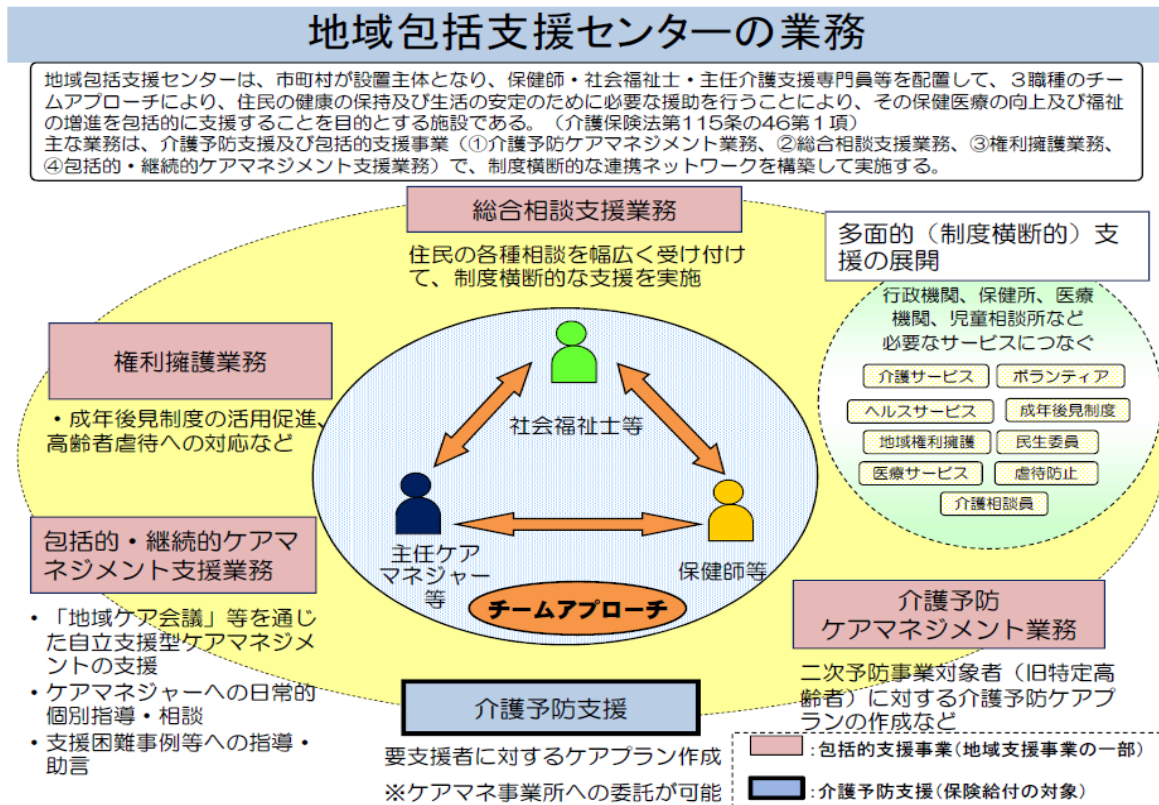
・地域住民を対象とした市民公開講座 1 回、健康講座を 4 回開催

・医療・介護関係者を対象とした多職種による研修会 2 回開催

・魚津市医療と介護の連携を考える懇談会 4 回開催

5. 地域包括支援センター

社会福祉課内に地域包括支援センターを併設し、①総合相談、②虐待の早期発見・防止などの権利擁護、③包括的・継続的ケアマネジメント支援、④介護予防ケアマネジメント、⑤認知症総合支援業務、⑥介護予防・日常生活支援総合事業を実施しており、地域包括ケア体制の整備に向けた中核機関としての役割を担っている。



（１）高齢者総合相談

保健や福祉、介護など高齢者に関する様々な相談に対応している。

- ・総合相談 延 1,064 件（介護保険、権利擁護に関する内容 など）
- ※うち、訪問実態把握 延 212 件

（２）権利擁護事業

成年後見制度や日常生活自立支援事業などの相談や高齢者虐待に関する相談を受けている。

（３）包括的・継続的ケアマネジメント支援

高齢者が地域で安心して生活できることを目的としたネットワークづくりや居宅介護支援事業者の支援

- ・地域包括支援センター相談協力員（121 名）

（４）介護予防ケアマネジメント

要支援 1、2 の要介護認定者に対するサービスの調整や計画作成

要支援 1 ……254 名 要支援 2 ……260 名 事業対象者 ……14 名（平成 30 年 3 月提出分）

（５）認知症総合支援業務

認知症地域支援推進員を地域包括支援センター内に配置し、認知症の本人や家族が地域で安心して生活できることを目的とした事業を検討実施した。

・認知症サポーター養成講座

平成 30 年 3 月 31 日現在 認知症サポーター数 4,033 人

また、平成 29 年 3 月に認知症初期集中支援チームを地域包括支援センター内に設置し、認知症の対応に困っている本人や家族を対象に、医療や介護サービスにつなげるための支援を実施した。

平成 29 年度活動実績 3 件

（６）介護予防・日常生活支援総合事業

平成 28 年 3 月から要支援 1、2 及び虚弱高齢者（事業対象者）を対象とした「介護予防・生活支援サービス事業」を開始した。要支援の方が利用していた介護予防給付を市が実施する地域支援事業に移行し、要介護状態にならないよう魚津市独自の多様な介護予防事業を実施していくこととなった。併せて、高齢者を対象とした介護に至らないための各種事業は継続して実施する。

①介護予防・生活支援サービス事業

要支援の方が利用していた介護予防給付うち「訪問介護」「通所介護」を「訪問型サービス」「通所型サービス」とし、介護予防給付とはサービス内容を一部変更して実施するもの。

・事業内容

サービス名	内 容
訪問型サービス（ホームヘルプサービス）	ホームヘルパーが家庭を訪問し、食事、入浴、排泄の介助や炊事、掃除、洗濯等日常生活の手助けを行う。
通所型サービス（デイサービス）	デイサービスセンターに通い、食事、入浴、日常動作訓練、レクリエーション等のサービスを受ける。

・事業費用等 [単位 上段：件、下段：千円]

区 分		平成 29 年度
訪問型サービス	件 数	1,685
	事 業 費	26,354
通所型サービス	件 数	2,320
	事 業 費	47,513

②一般介護予防事業

65 歳以上の高齢者全てを対象として、要介護状態にならないよう身体機能の向上、認知症や閉じこもりの予防を目的とした事業

（事業詳細については「3.自立支援を目的とした介護予防サービス」参照）